

令和6年度

新作万燈・若衆頭 一挙紹介

秋葉社の祭礼として始まり、240年以上の歴史を誇る万燈祭。県の無形民俗文化財にも指定され、7つの町・市内の企業や地区が参加します。平成30年には「第22回ふるさとイベント大賞」で、大賞（内閣総理大臣賞）を受賞しました。

万燈は、日が沈むにつれ色鮮やかに光を放ち、見る者を魅了します。若衆が高さ約5m、重さ約60kgの万燈を1人で担ぎ、勇壮に舞う様子は圧巻です。ぜひ、各町自慢の華麗な万燈と舞をご覧ください。

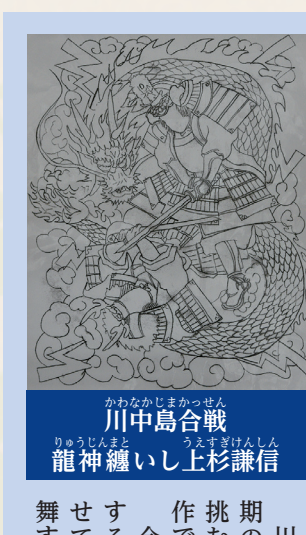
市観光協会（☎23-4100）



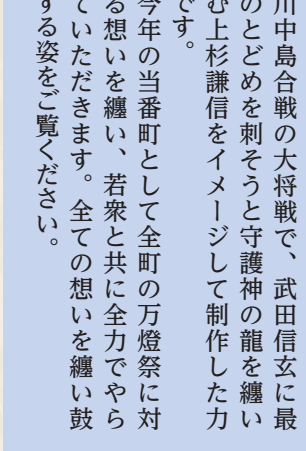
羽町
いぬかい ゆうすけ
犬飼 悠介



仲良く・楽しく・
元氣よく！



川中島合戦
かわなかじまかつせんと
龍神纏いし上杉謙信



川中島合戦の大将戦で、武田信玄に最期のとどめを刺そうと守護神の龍を纏い挑む上杉謙信をイメージして制作した力作です。

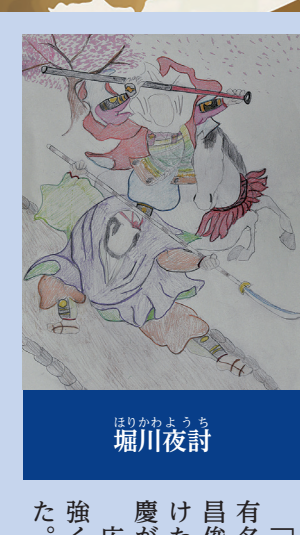
今年の当番町として全町の万燈祭に対する想いを纏い、若衆と共に全力でやらせていただきます。全ての想いを纏い鼓舞する姿をご覧ください。



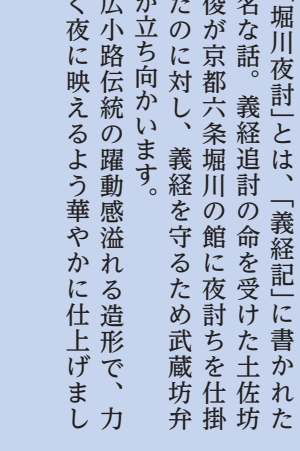
広小路
ひろこじ ゆうすけ
柘植 雄介



笑顔と元氣が溢れる
お祭りにします！



堀川夜討
ほりかわようち



「堀川夜討」とは、「義経記」に書かれた有名な話。義経追討の命を受けた土佐坊昌俊が京都六条堀川の館に夜討ちを仕掛けたのに対し、義経を守るため武蔵坊弁慶が立ち向かいます。

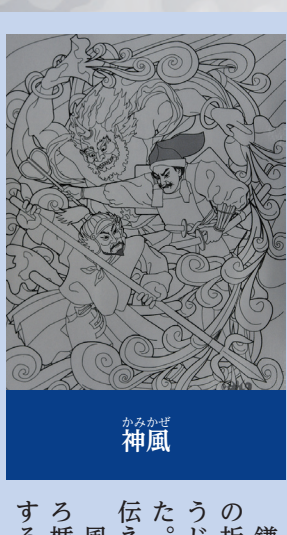
広小路伝統の躍動感溢れる造形で、力強く夜に映えるよう華やかに仕上げました。



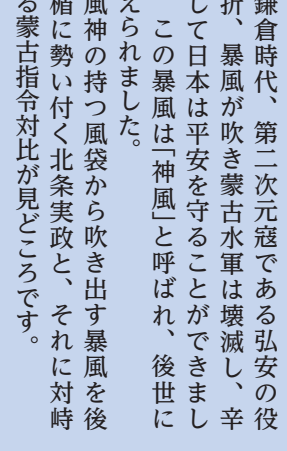
銀座
こじま ひでき
小島 英揮



迫力ある銀座の万燈を
お楽しみください！



かみかぜ
神風



鎌倉時代、第二次元寇である弘安の役の折、暴風が吹き蒙古水軍は壊滅し、辛うじて日本は平安を守ることができました。この暴風は「神風」と呼ばれ、後世に伝えられました。

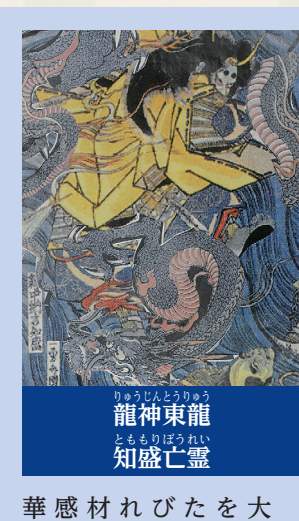
風神の持つ風袋から吹き出す暴風を後ろ楯に勢い付く北条実政と、それに対峙する蒙古指令対比が見どころです。



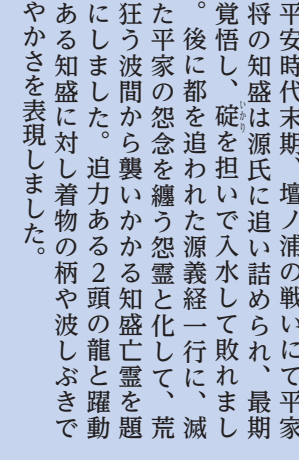
東陽町
いたくら しやうへい
板倉 昇平



東魂溢れる勇ましい若衆の
舞をぜひご覧ください！



龍神東龍
りゅうじんとうりゅう
知盛亡霊



平安時代末期、壇ノ浦の戦いにて平家大将の知盛は源氏に追い詰められ、最期を覚悟し、碇を担いで入水して敗れました。後に都を追われた源義経一行に、滅びた平家の怨念を纏う怨霊と化して、荒れ狂う波間から襲いかかる知盛亡霊を題材にしました。迫力ある2頭の龍と躍動感ある知盛に対し着物の柄や波しぶきで華やかさを表現しました。



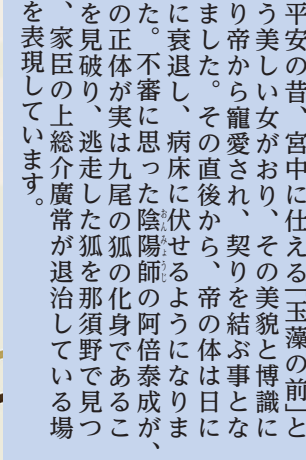
新栄町
ふるこうじ けんた
古小路 拳汰



新栄町の迫力ある万燈と
若衆の勇姿をご覧ください！



上総介廣常
かづさのすけひろつね
九尾の狐を討つ



平安の昔、宮中に仕える「玉藻の前」という美しい女がおり、その美貌と博識により帝から寵愛され、契りを結ぶ事となりました。その直後から、帝の体は日に日に衰退し、病床に伏せるようになります。不審に思った陰陽師の安倍泰成が、女の正体が実は九尾の狐の化身であることを見破り、逃走した狐を那須野で見つけ、家臣の上総介廣常が退治している場面を表現しています。



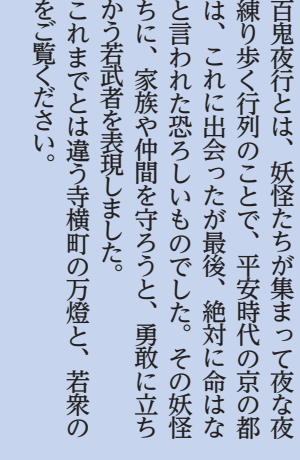
寺横町
かわもと こうへい
川本 康平



寺横町全員で、去年を
超える盛り上がりを！



百鬼夜行
ひゃっきやこう



百鬼夜行とは、妖怪たちが集まって夜な夜な練り歩く行列のことで、平安時代の京の都では、これに出会ったが最後、絶対に命はないと言われた恐ろしいものでした。その妖怪たちに、家族や仲間を守ろうと、勇敢に立ち向かう若武者を表現しました。

これまでとは違う寺横町の万燈と、若衆の舞をご覧ください。



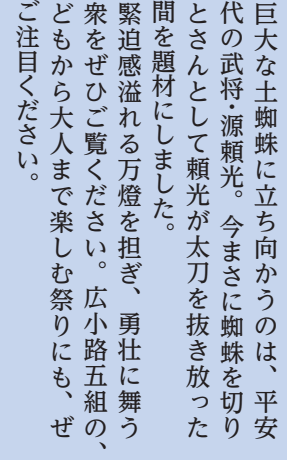
広小路五組
おかもと れおん
岡本 怜音



広小路五組らしく、
心一つに楽しめます！



源 頼光
みなもと のよりみつ
土蜘蛛退治之図



巨大な土蜘蛛に立ち向かうのは、平安時代の武将・源頼光。今まさに蜘蛛を切り落とさんとして頼光が太刀を抜き放った瞬間を題材にしました。

緊迫感溢れる万燈を担ぎ、勇壮に舞う若衆をぜひご覧ください。広小路五組の子どもから大人まで楽しむ祭りにも、ぜひご注目ください。